

ダイワコーポ ■和く和くPJ

社内広報活動に注力

ダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）では、採用・研修に力を入れている。若手社員による「和く和くプロジェクト」(PJ)は8代目、新たに社内広報活動に挑戦。来客スペースを装飾したり、メールマガジンを社員向けに配信したりと、工夫を凝らしている。

和く和くPJとは入社4年目までの若手社員による

新卒採用PJ。学生と年齢

の近い社員が会社説明を行うことで企業とのミスマッチを防ぐことを目的としてスタートしたが、現在は採用活動を通して会社を深く理解し、ビジネススキルを学ぶ研修の意味合いもあるという。

7月にキックオフした8代目は、社内広報活動に新たに組み組んでいる。和く和くPJは、通常業務後に

本社に集まっ

ての活動が多く、活動最終報告会も経営層の前で発表するため、従業員から「活動内容が分からない」といった声もあつた。そこで、社内広報に注力した「装飾・メルマガチーム」を発足した。

本社4階の来客スペースで70年の歴史を紹介。拠点開設を時系列で紹介すると

ともに、初代から8代目までの和く和くPJメンバーの写真も掲示している。

メールマガジンは9月から開始し、月1回ペースで配信している。顧客の情報や和く和くPJの活動報告を紹介。メールマガジン作成に当たり、顧客や物流業界の情報を収集することで知識を深め、新たなアイデ

アの創出や顧客との円滑なコミュニケーションにつながることを狙いとしている。11月号は70周年記念特集を配信する予定。

(伊代野輝)